



ジャパンカップのフィニッシュ、惜しくも新城は3位



2015 UCIロード世界選手権大会	2
男子エリート・ロードレースランキング	7
CYCLE MODE	7
2015 JAPAN CUP	8
リオ五輪テストイベント (BMX/MTB)	11
2015年BMXアジア選手権大会	12
競技大会結果	13
日本新記録 / NEWS / 日本代表選手団	17
今後の大会予定	18
2015台湾トラックインターナショナルクラシック大会	18
日本代表選手団 / 連盟の動き	18
第70回国民体育大会自転車競技	19
ジャパン・パラサイクリングカップ2015	22
SAITAMA CRITERIUM	24



KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING! プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGRING! 



2015 UCI ロード世界選手権大会

女子ジュニア梶原4位、男子エリート新城 17位!



UCI ROAD WORLD CHAMPIONSHIPS
RICHMOND 2015 | USA

Hosted by VIRGINIA IS FOR LOVERS

アメリカ合衆国リッチモンドで開催された世界自転車選手権ロードレース。個人TT初日の9月21日は、ジュニア女子とU23の個人タイムトライアルが開催された。女子ジュニアは昨年に引き続き、2回目の出場の梶原悠未が11位と健闘した。3年ぶりの世界選となるU23では同カテゴリー全日本TTチャンピオンの小石祐馬と岡篤志の2名が出走し、岡が49位、小石は残念ながら途中の落車転倒の影響で50位となった。(浅田 顕)

9月22日、世界選手権TT2日目は、午前中に男子ジュニア、午後には女子エリートが、1周約15kmのコースを2周する29.9kmで争われた。

男子ジュニアは沢田桂太郎(東北高校)と石上優大(横浜高校)が参加した。テクニカルなコースではなく、タイル張りの路面が重い区間、追い風、向かい風区間があり、力とペース配分で勝負が決まるコース設定で、沢田は1周目も2周目もほぼ同じペースでこなす。石上はコーナーの多いTTは得意とするが、力勝負のコースでは良いタイムを出すことは厳しかった。

優勝はAppelt Leo (GER) で37分45秒のタイムをたたき出した。アベレージスピードは47.5km/hと前日の

同コースで行なわれたU23でも4位に入るタイムで、優勝候補のアメリカのMcNulty Brandon、Costa Adrienらを大きく引き離れた。沢田はトップから4分36秒差の45位。石上は沢田より5秒速く、トップから4分31秒差の44位となった。

女子エリートには與那嶺恵理(サクソバンクFX証券)が参加した。萩原麻由子(Wiggle Honda)もエントリーしていたが、世界選手権直前のレースで落車骨折のため不参加となった。昨年の世界選手権TTで9位のVillumsen Linda Melanieが、昨年の成績から大きく躍進し、2位、3位との秒差争いの接戦を抜け出して優勝した。與那嶺は向かい風区間で良い走りをみせてタイムを稼ぎ、Villumsenから2分10秒差の18位となった。



9月25日ロードレース初日は午前には女子ジュニア、午後から男子U23が行なわれ、女子ジュニアは1周16.2kmのコースを4周で争われた。

女子ジュニアロード (64.8km)

4日前のTT 1位のDygart Chloe、2位のWhite Emmaを擁するアメリカを筆頭に、チームで戦うイタリア、ロシア、オランダ、フランスを中心にレースが動くことが予想された。日本からは梶原悠未(筑波大学附属坂戸高校)が参加した。

2周目中盤にアメリカの優勝候補Dygart ChloeとWhite Emmaの2名、昨年3位のSkalniak Agnieszka (POL) とLabous Juliette(FRA)の4名が抜け出す。4名はタイム差50秒をつけ、梶原を含む集団はイタリアを中心に追いかけるが差は縮まらない。先頭の4名からDygart Chloeが抜け出し、そのままゴールまで逃げ切る。逃げグループから残った2名が集団からわずかの差で逃げ切り、梶原はメイン集団18名のスプリントの先頭でフィニッシュし4位となった。梶原は今回優勝のみを狙って参加したが、White Emmaを含む逃げに圧倒的な独走力を持つDygart Chloeがブリッジをかけた際に、すぐに反応しなかったとこ



メイン集団のゴールスプリントを制する梶原悠未

Women Junior

1周目の登りをトップで行く梶原悠未

ろで勝負がついてしまった。それでも終始冷静にレースを分析して、自分で脚を使うところと、他のチームに任せるところを考えてレースを進める姿に、この1年での大きな成長を感じた。

(柿木 孝之)

男子U23ロード (162.0km)

コースはフラット中心だが、短い石畳の登りがレースを厳しくする。各主力国はパワーのある大柄の選手を中心に、代表チームを構成している。日本チームは小石をエースに、10位以内の成績を目標にスタート。

レースは序盤から出来た少人数の逃げグループに対し、大きな集団が一定のタイム差で進む。後半になると主力国のペースアップにより、集団の人数を絞りながら逃げグループを吸収し、勝負どころのラスト2周に入る。日本チームは小石、面手、小橋が残る。しかしこのタイミングで小石がパンクしてしまい、集団が分裂していたため先頭グループへの復帰が出来ず、ここで小石は戦列から外れる結果となった。残った面手と小橋はゴールに備え、面手がスプリント力のある小橋をアシストする形で最終回を迎えた。

しかし降り出した雨で滑りやすくなった路面で落車が続出しはじめ、両

者とも大きく影響を受ける形でポジションを下げてしまい、先頭から少し遅れて小橋が45位、面手が61位でのゴールとなった。勝ったのはKevin Ledanois (FRA) で、フランスのプロコンチネンタルチーム「ブルターニュ」に所属するプロ選手である。(浅田 顕)



9月26日ロード2日目は、雨が降る中、午前中は男子ジュニアのレース、午後は女子エリートのレースが1周16.2kmのコースを8周で争われた。

男子ジュニアロード (129.6km)

男子ジュニアには石上優大(横浜高校)、沢田桂太郎(東北高校)、小野康太郎(スミタ・エイダイ・パールイズミ・ラバネロ)、渡邊歩(学法石川高校)の4名が参加した。

レース前半は雨で滑りやすい石畳区間だけでなく、コース全体においてどの有力国もエース選手たちが自ら集団前に陣取り、落車を回避する動きをしてくる。スタートして数100mの落車に小野が巻き込まれる。ペースの速い集団に何とか自力で集団復帰するが、集団のペースも滑りやすいコースを考えると遅くはなく、集団内では常に2か所の石畳区間で落車や急停止が起こり、再走できずに自転車から降りて走る選手も出てくる。ネイションズカップで結果を残している選手が、レース前半から攻撃を仕掛けてくる。

3日目には優勝候補の1人 McNulty Brandon (USA) らが攻撃をかけて抜け出し、レースは速いペースで進んでいく。小野は前半の追走で脚を使い、さらに落車の影響によるメカトラで途



男子エリート優勝のサガン



スタート前の新城、内間、別府

Men Elite



別府史之



新城幸也



内間康平

中代車に乗り換えざるを得ず、ここで大きく遅れる。沢田もこの周に落車するが集団復帰する。4周目には14名の先頭集団が出来るが、集団も1分以上の差を許さない。5周目の石畳後の下りコーナーでカザフスタンの落車に渡邊が巻き込まれ、起き上がることができずその場でリタイヤとなる。

6周目には集団はいくつかに分かれて進むが、石上は分裂した集団の前方でまだ余裕がみられる。沢田は先頭グループへの追走をかけたが追いつけず、次の周回でのペースアップに対応できず遅れる。ラスト1周を切って集団はいくつかに分かれる。オーストリアのGall Felixが1人抜けだし、集団は5名、10名と小さく分断されながら追走する。石上は自力で集団内での攻防に対応して、ラスト周回では第3集団にとどまっていたが、ラスト周回の勝負のかかった石畳区間で力尽き遅れた。優勝はGall Felixが僅差で逃げ切った。

女子エリートロード (129.6km)

女子エリートは午後になり雨が上がったことで、石畳区間とその前後での戦い方が異なり、チーム戦になることが予想された。日本からは與那嶺恵理が参加した。

レースは大きな逃げは出来ず、アメリカ、イギリス、オーストラリア、オランダ勢が、チームでまとまって集団の前を固めて走る。集団内では単独落車やパンクが、石畳区間以外で頻繁に起こる。ラスト2周を切ってからの平坦区間での攻撃で、オーストラリア2名を含む9名の先頭グループが出来る。集団はこのグループを見送りタイム差は1分弱まで広がる。イギリス勢が逃げに入っておらず、優勝候補のArmitstead Elizabeth (GBR) が自ら攻撃をかけて、集団を引っ張る。

最後の石畳区間で逃げていた選手を全員吸収して、世界選手権前から好調を維持していたArmitstead Elizabethが、ゴールまで完全に先頭集団を支配して、そのままゴールプリント勝負を制して優勝した。最終周まで50名までに減った先頭グループにとどまった與那嶺は、2つ目の石畳区間手前のコーナーで落車して、最後は遅れてゴールした。(柿木 孝之)

男子エリートロード (261.4km)

9月27日世界選手権最終日はメインイベントの男子エリート。新城、別府、内間の3名で臨むジャパンチーム





石上優大



沢田桂太郎

Men Junior



渡邊 歩



小野康太郎

は、来るべく終盤の本格的ペースアップに向けて各選手のスタイルで備える。レースは序盤に動いた8名の先行グループに対して、オランダが一定ペースでコントロールする状態が長く続く中、毎周回の石畳の登り区間での自然なペースアップや位置取りで、集団待機していても疲労が蓄積してゆく。度重なる落車回避や急な体調不良で別府と内間が連列から離れる中、新城は勝負のかかる終盤まで冷静に動き、最終局面を小さく絞られた先頭グループで迎える。

最後に単独で飛び出したサガン (SVK) を、数秒差で追う約20名のグループでスプリントに入るが、目前に見えた世界チャンピオンの背中を追うも上位には届かず、新城は17位でのゴールとなった。今回の成績は新城本人の自己評価は厳しいようだが、世界のトップと戦える証明には十分な走りであった。(浅田 頭)



與那嶺恵理

Women Elite

【競技結果】

**2015年UCIロード世界選手権大会
(2015/9/20-27 アメリカ・リッチモンド)**

男子エリート個人ロードレース (261.4km)

- 1 SAGAN Peter SVK 6:14:37
- 2 MATTHEWS Michael AUS +0:03
- 3 NAVARDAUSKAS Ramunas LTU +0:03
- 17 新城 幸也 JPCA ヨロッパカー +0:03
- 内間 康平 沖縄 プリヂェストン DNF
- 別府 史之 JPCA トレックファクトリー DNF

男子U23個人ロードレース (162.0km)

- 1 LEDANOIS Kevin FRA 3:54:45
- 2 CONSONNI Simone ITA +0:00
- 3 TURGIS Anthony FRA +0:02
- 45 小橋 勇利 愛媛 JP Sports +0:48
- 61 面手 利輝 神奈川 EQADS +1:12
- 122 小石 祐馬 京都 CCT p/b +15:41
- 徳田 優 京都 鹿屋体育大 DNF
- 岡 篤志 茨城 EQADS DNF

男子ジュニア個人ロードレース (129.6km)

- 1 GALL Felix AUT 3:11:09
- 2 BETOUIGT-SUIRE Clement FRA +0:00
- 3 PEDERSEN Rasmus DEN +0:01
- 70 石上 優大 神奈川 横浜高校 +3:18

- 93 沢田桂太郎 宮城 東北高校 +12:30
- 小野康太郎 東京 ミズノタイ DNF
- 渡邊 歩 福島 学法石川 DNF

女子エリート個人ロードレース (129.6km)

- 1 ARMITSTEAD Elizabeth GBR 3:23:56
- 2 VAN DER BREGGEN Anna NED +0:00
- 3 GUARNIER Megan USA +0:00
- 63 與那嶺恵理 茨城 サクパバンク +3:33

女子ジュニア個人ロードレース (64.8km)

- 1 DYGERT Chloe USA 1:42:16
- 2 WHITE Emma USA +1:23
- 3 SKALNIAK Agnieszka POL +1:28
- 4 梶原 悠未 埼玉 坂戸高校 +1:41

男子エリート個人TT (53.5km) *日本不参加

- 1 KIRYIENKA Vasil BLR 1:02:29.45
- 2 MALORI Adriano ITA +9.08
- 3 COPPEL Jerome FRA +26.62

男子U23個人TT (29.9km)

- 1 SCHMIDT Mads Wurtz DEN 37:10.96
- 2 SCHACHMANN Maximilian GER +12.20
- 3 KAMNA Lennard GER +21.02
- 49 岡 篤志 茨城 Eqads +5:20.89
- 50 小石 祐馬 京都 CCT +5:29.25

男子ジュニア個人TT (29.9km)

- 1 APPELT Leo GER 37:45.01
- 2 COSTA Adrien USA +17.22
- 3 MCNULTY Brandon USA +59.74
- 44 石上 優大 神奈川 横浜高 +4:31.70
- 45 沢田桂太郎 宮城 東北高 +4:36.50

女子エリート個人TT (29.9km)

- 1 VILLUMSEN Linda Melanie NZL 40:29.87
- 2 VAN DER BREGGEN Anna NED +2.54
- 3 BRENNAUER Lisa GER +5.26
- 18 與那嶺恵理 茨城 サクパバンク +2:10.35

女子ジュニア個人TT (15.0km)

- 1 DYGERT Chloe USA 20:18.47
- 2 WHITE Emma USA +1:05.53
- 3 HULL Anna-Leeza AUS +1:26.08
- 11 梶原 悠未 埼玉 坂戸高 +1:54.52

男子チームタイムトライアル (38.6km) *日本不参加

- 1 BMC RACING USA 42:09.97
- 2 ETIXX-QUICK STEPBEL +11.35
- 3 MOVISTAR TEAM ESP +30.11

女子チームタイムトライアル (38.6km) *日本不参加

- 1 VELOCIO - SRAM GER 47:35.72
- 2 BOELS DOLMANS NED +06.66
- 3 RABO LIV WOMEN NED +56.12

男子エリート・ロードレースランキング

2015/11/8

順位	名前	所属	合計	アジア選 ロード		T.O.J 総合		T.O.J 3 St		T.O.J 7 St		熊野 総合		熊野 1 St		熊野 3 St		全日本 TT		全日本 ロード		T北海道 総合		T北海道 3 St		全日本 実業団		世界選 ロード		Japan Cup		ワールド 沖縄	
				2015 2/12	2015 2/14	2015 5/17-24	2015 5/20	2015 5/24	2015 5/28-31	2015 5/29	2015 5/31	2015 6/21	2015 6/28	2015 9/13	2015 9/13	2015 9/27	2015 9/27	2015 10/18	2015 11/8														
1	新城 幸也	JPCA	58p	8																								10	40				
2	畑中 勇介	東京	48p																		30						10		8				
3	内間 康平	沖縄	46p	40																			6										
4	窪木 一茂	和歌山	40p																		40												
5	入部 正太郎	奈良	33p																														
6	増田 成幸	栃木	21p																														
7	初山 翔	神奈川	19p									6																		4	8		
8	鈴木 龍	栃木	15p													2															3		
8	鈴木 真理	栃木	15p																														
10	吉田 隼人	奈良	12p																														
10	中根 英登	愛知	12p									12																					
10	西園 良太	鹿児島	12p																														
13	井上 和郎	福井	10p																														
14	中島 康晴	福井	9p	6																													
15	中村 龍太郎	千葉	8p																														
15	鈴木 謙	栃木	8p									8																					
17	黒枝 士揮	大分	6p																														
17	佐野 淳哉	栃木	6p																														
17	黒枝 咲哉	大分	6p									4																					
20	綾部 勇成	JPCA	5p																														
21	野中 竜馬	広島	4p																														
22	山本 隼	山梨	2p																														
22	大久保 陣	鹿児島	2p																														
22	土井 雪広	山形	2p																														



CYCLE MODE

**JCF プレゼンツ 2016 アジア選手権
～「2016 アジア選手権」を語る**

サイクルモード最終日、メインステージにおいて2016年1月に日本で開催されるアジア選手権についてのスペシャルトークライブが開催され、同大会において活躍が期待される新城幸也、萩原麻由子、石井貴子、藤田征樹選手達が2016年アジア自転車競技選手権大会への思いを語った。

なお、アジア選手権はロードが1月19日～24日、東京都大島町で、トラックが26日～30日、静岡県伊豆ペロドロームで開催される。



SUBARU presents
2015 JAPAN CUP
CYCLE ROAD RACE in UTSUNOMIYA
宇都宮市森林公園周回コース

短縮コースで開催
トレックのモレマが初優勝
新城は3位!

大会のおよそ1ヶ月前、9月9日から10日にかけて北関東を襲った記録的な豪雨は、栃木県内の各地に甚大な被害をもたらした。ジャパンカップが行われる宇都宮市森林公園コースもその影響は避けられず、9km地点の萩の交差点を右折した下野萩の道で土砂崩れが発生。この区間が通行禁止となったため、萩から鶴C.Cまでの区間がキャンセルされ、今年のレースは例年最終回で使用する、10.3kmのショートコースで行われることになった。

1周の距離が短くなったことで、周回数は例年の11周から14周となり、レース距離は例年より7Kmほど短い144.2km。鶴C.Cの上りが無くなった

が周回数が増えたことで、獲得標高は例年とほぼ同じである。このコースでレースが行われるのは、'95年の第4回大会以来20年振り。仕掛け処の一つであった鶴C.Cの上りが無くなったことが、各選手の戦略にどのような影響を与えるのか興味は尽きない。

昨年同様の好天気と最高25℃に達した気温の中、15チーム73名の選手が、本大会名誉スター佐藤栄一宇都宮市長の号砲を合図に定刻10時にスタート。ファーストアタックはチーム右京の土井雪広で、古賀志林道の最初の山頂を奪う。6名が土井に続くが、チーム・スカイとトレック・ファクトリーにコントロールされた集団はこの逃げ

を容認し、山頂でその差は1分14秒に広がる。

土井の後続6名は古賀志林道からの下りで合流。これで先頭集団は土井、マルティン・フェルスホール(ノボルディスク)、ルー・シャオ・シェアン、エリック・シェパード(以上ガスト)、青柳憲輝(ブリッツェン)、安原大貴(マトリックス)鈴木龍(ブラーゼン)の7名となる。チーム・ガストは台湾籍のチームで、今回ジャパンカップ初出場。台湾人2名、香港人1名がエントリーするアジア勢期待のコンチネンタルチームだ。

周回数が増えたことで今回は4回となった山岳賞、1回目の山岳賞を狙って飛び出したのは、ガストのシェパードに地元ブリッツェンの青柳とブラーゼンの鈴木龍の3名で、地元期待の青柳が最初の山岳賞を獲得する。惜しくも1



ステージで紹介される日本ナショナルチーム



最初の山岳賞を獲得した地元の青柳

1人逃げるシェパード



回目の山岳賞に届かなかったシェパードだが、6周目の2回目の山岳賞を安原とのマッチアップの末に制すると、そのまま単独で逃げて9周目の3回目の山岳賞も獲得することになる。

シェパードはその後、4名まで縮小していた後続集団に戻り、これで先頭集団は5名。メイン集団との差はフィニッシュ地点で1分17秒まで縮まる。10周目、先頭集団からルー・シェアンが脱落すると、いよいよレースが本格的に動き始めた。フィニッシュ前のストレートでブリッツェン勢4名がルー・シェアンを吸収し、古賀志林道の上りで一気に先頭集団との差を詰める。11周目の頂上で先頭4名と、集団から飛び出した増田成幸、鈴木謙(以上ブリッツェン)、初山翔(プリヂストン)ら3名との差は22秒。先頭集団からフェルスホールを除く3名は脱落し、増田、鈴木、初山、フェルスホールの新たな先頭集団が形成されるが、11周完了時点でメイン集団との差はわずか16秒。ランプレ、スカイ、トレックら海外有力チームが、一気に集団を引っ張り上げる。

12周目、4回目の山岳賞は初山と増田の争いになり初山が獲得。活性化させたメイン集団は30名ほどに小さくなり、下りで初山と増田を吸収する。ここで集団からマテイ・モホリッチ(キャ



日本ナショナルチームの4名

ノンデル)と山本元喜(NIPPO)が飛び出す、これは決定的な逃げとはならなかった。

残り2周、13周目の古賀志林道では、ディエゴ・ウリッシとヤン・ポランの2名のランプレ勢がアタック。そのアタックに追従したのはセバスチャン・エナオ・ゴメス(スカイ)、パウケ・モレマ(トレック)、そして日本ナショナルチームの新城幸也だ。今年は所属するチーム・ユーロップカーとしての参加は成らず、ナショナルチームの一員として参加した新城は、レースが落ち着いていた中盤までは若手中心のチームをケアするような走りを見せていたが、満を持してこのタイミングで先頭集団に加わり、観客の大声援を浴びる。



最終ラップに入る先頭集団

しかしながらここからレースの見所となったのは、ランプレのアシストとしてのポランの献身ぶりだった。萩(9Km)のポイントからフィニッシュラインまでの細かい上りでは、ウリッシを引きつつペースを上げて、集団のふるい落としにかかる。最終周回の古賀志林道で一度は脱落したものの、アタックを仕掛けて山頂を先頭で通過したウリッシが逃げ切れないとすると、第2集団の後方で脚をためてチャンスをうかがう。遂には残り2kmで先頭集団に追いついて、再びウリッシの前に入って集団を引っ張るなど、これぞアシストという走りをポランは見せた。残り2Km、ポラン、ウリッシ、モレマ、新城の順で先頭集団はゴールに向かう。ゴメスは残り3kmでのウリッシのアタックで脱落したが、残り1kmでフローレス・ゲルツ(BMC)が後方から合流し、先頭集団は5名になる。

後ろを振り返ることなく懸命に集団を引くポラン。ウリッシを引きながら

ペースを上げて後続の3名に脚を使わせたいところであるが、さすがにそこまでの力は残っていなかった。残り200mでゲルツが最後方からアタック、ウリッシ、モレマ、新城と続く。ポランの仕事はこれで完了だ。

優勝は最終周で脚を攀らせながらも、ゴールスプリントを制したモレマ。ウリッシはゴール手前のコーナーでややインに詰まった感もあるが、道中のふるい落としに脚を使っていたことも影響していたのか届かず2位。新城が3位に入り、日本人としては'11年以来4年ぶりの表彰台を得た。ポランの献身的なアシストに答えることができなかったウリッシの、表彰台での悔しそうな表情が印象的であった。惜しい

星を落としたランプレ・メリダであったが、来年はジャパンカップ過去最多6勝を誇るこのチームに新城が加わる。来年のジャパンカップでこそ、新城の初優勝を期待したい。

「今日勝利を逃したのでまだまだ宿題が残りました。また来年戻ってきて優勝できるよう頑張ります(新城)」



3位の表彰を受ける新城



クリテリウム優勝の別府

**クリテリウム優勝は別府史之
ポイント賞も日本勢が占める**

UCI公認競技となる2015ジャパンカップクリテリウムは、ゴールスプリントを制した別府史之が、開催6回目にして悲願の日本人初優勝を飾った。5、10、15周目に設定されたスプリント賞もそれぞれ鈴木謙、城田大和の地元宇都宮ブリッツェン勢と初山が獲得し、過去最高43,000人の大観衆の喝采を受けた。

宇都宮の目抜き通りを封鎖して行われるこのクリテリウムでは、毎年様々なオープニングイベントが企画されるが、今年は「未来へ」をテーマに、インターハイロードの上位入賞者から選抜された高校生による、ホープフルクリテリウムが実施された。3周回の短いレースであったが、おそらく過去にはないほどの大観衆の前で走った経験は、若い選手達にとって大いなる刺激と起爆剤になったに違いない。今後はジャパンカップ本戦に出場することを目標に、お互いに切磋琢磨することで次世代を担って欲しい。

記録的豪雨は下野萩の道の土砂崩れのみならず、コース各所に爪痕を残していた。それでも記録更新となる82,000人の大観衆を集めて、今年もジャパンカップが無事開催されたことに感謝したい。そして被災された方々に改めてお見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い地域の復旧を願ってやまない。
(村田 隆宣)



クリテリウム前パレードの新城



ホープフルクリテの小島

【競技結果】

2015 ジャパンカップサイクルードレース
(2015/10/17-18 栃木・宇都宮)

クリテリウム (31.0km)

- | | | | |
|---|--------------------------|-----|-------|
| 1 | 別府 史之 | TFR | 42:29 |
| 2 | SWIFT Ben | SKY | 42:29 |
| 3 | VON HOFF Steele | SPL | 42:29 |
| 4 | PRADES REVERTER Benjamin | MTR | 42:29 |
| 5 | BETTIOL Alberto | TCG | 42:29 |
| 6 | GERTS Floris | BMC | 42:29 |

ジャパンカップ (144.2km)

- | | | | |
|---|---------------|-----|---------|
| 1 | MOLLEMA Bauke | TFR | 3:53:40 |
| 2 | ULISSI Diego | LAM | 3:53:40 |
| 3 | 新城 幸也 | JPN | 3:53:40 |
| 4 | GERTS Floris | BMC | 3:53:40 |
| 5 | POLANC Jan | LAM | 3:53:51 |
| 6 | MOHORIC Matej | TCG | 3:53:56 |

オープン男子1組 (72.1km)

- | | | | |
|---|-------|-----|---------|
| 1 | 山本 大喜 | 奈良 | 1:57:55 |
| 2 | 岡本 隼 | 和歌山 | 1:58:04 |
| 3 | 中井 唯晶 | 滋賀 | 1:58:04 |
| 4 | 塩田 航平 | 埼玉 | 1:58:04 |
| 5 | 小林 泰正 | 群馬 | 1:58:04 |
| 6 | 米谷 隆志 | 東京 | 1:58:04 |

オープン男子2組 (72.1km)

- | | | | |
|---|-------|-----|---------|
| 1 | 清宮 洋幸 | 千葉 | 1:59:00 |
| 2 | 中村龍太郎 | 千葉 | 1:59:00 |
| 3 | 辻本 尚希 | 東京 | 1:59:00 |
| 4 | 佐野 千尋 | 北海道 | 1:59:00 |
| 5 | 青木 峻二 | 神奈川 | 1:59:00 |
| 6 | 平野 真一 | 和歌山 | 1:59:04 |

オープン女子 (30.9km)

- | | | | |
|---|-------|----|-------|
| 1 | 梶原 悠未 | 埼玉 | 57:16 |
| 2 | 金子 広美 | 三重 | 57:18 |
| 3 | 上野みなみ | 青森 | 57:19 |
| 4 | 坂口 聖香 | 兵庫 | 58:02 |
| 5 | 合田祐美子 | 岡山 | 58:02 |
| 6 | 西 加南子 | 千葉 | 59:20 |

チャレンジ1組 (20.6km)

- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 福田 圭晃 | 神奈川 | 35:10 |
| 2 | 中野 公之 | 東京 | 35:10 |
| 3 | 津田 悠義 | 愛知 | 35:11 |

チャレンジ2組 (20.6km)

- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 石村公仁彦 | 神奈川 | 35:28 |
| 2 | 小川 恵佑 | 千葉 | 35:28 |
| 3 | 石川 遼 | 栃木 | 35:28 |

**2015 ジャパンカップサイクルードレース
日本代表選手団**

大会名 2015 ジャパンカップサイクルードレース
開催場所 栃木県宇都宮市
大会期間 2015年10月17日～18日
派遣期間 2015年10月16日～18日

代表選手団

- 監督 浅田 顕 (JCF 選手強化コーチ)
- コーチ 柿木 孝之 (JCF 選手強化コーチ)
- メカニック 高橋 優平 (JCF 選手強化支援スタッフ)
- マッサー 井上 良輝 (JCF 選手強化支援スタッフ)
- 選手 新城 幸也 (JPCA・チームヨーロッパカー)
- 入部正太郎 (奈良・シマノレーシングチーム)
- 徳田 優 (京都・鹿屋体育大学)
- 黒枝 咲哉 (大分・鹿屋体育大学)
- 面手 利輝 (神奈川・EQADS)

リオ五輪テストイベント (BMX/MTB)



BMXリオ五輪テストイベントは、来年に迫ったリオデジャネイロオリンピックのリハーサル大会に位置づけられ、実際にオリンピックで使用されるコースやシステムでのレースとなり、日本からは男子3名、女子1名の4選手が参戦した。

大会初日は午前中にトラックウォークが行われ、待ちに待った来年の決戦の場が公開された。これまでの五輪2大会同様、ワールドカップシリーズなどでテストされたセクションを組み合わせた、集大成のコースとなっている。

しかし各セクションの設計がうまくいっておらず、トラックウォーク後にコースレイアウトに関してコーチミーティングやライダーミーティングが行われた。5時間に渡る意見交換の結果、男女各30分の練習走行が実施されたがフルコー

スは使用できず、また選手も全体の2割ほどの参加だった。

日本チームはオリンピックトラックに対する緊張感を取り除くため、全選手が練習走行を行い、これまで描いてきたイメージとの確認ができた。

そして大会2日目のプレ予選はキャンセルとなり、最終日までの間でコース改修が行われることが発表された

最終日の公式練習直前まで男女両セクションの大幅な改修が続いたが、男子も女子セクションを使用する方向で決定が出され、大会プログラムがスタートした。

プログラム変更により、予選へ位置づけられたタイムトライアルでは、男子上位32名が準々決勝へ、女子上位16名が準決勝へ進出する事となり、日本はそれぞれ長迫12位、吉村18位、吉井20位で決勝ラウンドへ進出した。

女子の瀬古は、公式練習で他の選手が苦戦するセクションを素早く攻略するも、タイムトライアルでは転倒し総合18位で大会を終えた。

タイムトライアル終了後に準々決勝が行われたが、1ヒート目終了後に天候が悪化。1時間30分のレース中断の末、大会中止の決断がくだされた。

終始トラブル続きで終わった今回のリオ五輪テストイベントだったが、運営側と選手/コーチ側での意見交換が行われ、今後のBMXレース種目発展に繋がる大きなターニングポイントになったのではないだろうか。

また来年に控えたリオ五輪に向けても貴重なフィードバックを収集することができ、日本チームとしてはポジティブな状態で会場をあとにすることになった。

(三瓶 将廣)

【競技結果】

Aquece Rio International BMX Challenge (2015/10/2-4 ブラジル・リオデジャネイロ)

男子リト (タイムトライアル結果)

- 1 TREIMANIS Edzus LAT
- 2 MIR Amidou FRA
- 3 GRAF Davi BRA
- 18 吉村樹希敢 大阪 CREDIT Racing
- 27 長迫 吉拓 岡山 MX インターナショナル
- 31 吉井 康平 東京 MX インターナショナル

女子リト (タイムトライアル結果)

- 1 PAJON Mariana COL
- 2 HERNANDEZ Stefany VEN
- 3 CRAIN Brooke Lee Ann USA
- 18 瀬古 遥加 三重 至学館大学

Aquece Rio International MTB Challenge (2015/10/11 ブラジル・リオデジャネイロ)

XCO 男子リト (29.4km)

- 1 SCHURTER NinoSUI 1:20:36
- 2 MAROTTE Maxime FRA +0:02
- 3 TIBERI Andrea ITA +1:56
- 11 山本 幸平 北海道 Trek Factory +3:39



MTBプレオリンピックがリオ五輪コースで開催され、日本からはアジア選手権で確保した1名枠分で山本幸平がエントリーした。

コースは陸軍敷地内特設コースで、人工的に作られた岩を多く使用したセクションやジャンプ、Wレーンのコースで、1周4.9km×6周の29.4kmで、24カ国46名で争われた。

コースが狭くスタート位置がとても重要なレース。3列目からスタートした山本は、スタート良く5~15位の集団で1周目から走り出し、終始集団で争いながらの展開。3周目以降8位集団で走行。

気温35℃の猛暑に苦しむ選手やロックセクションでのパンクが目立ちだした中盤以降も、粘って走り切り11位でゴールした。

今シーズンは早めにオフを取った山本にとって、オフ明けと言っても良い時期に開催された今大会。ベストとは言い難いが、気持ちも体もリフレッシュされたコンディションで走りきれたレースとなった。

また食事や気候、時差、そしてコースも難しいセクションやラインも多数あったが、公式練習でしっかりと走り込み、来年の本番に向けていい感触をつかむことができた。(鈴木 雷太)

リオ五輪テストイベント (BMX) 日本代表派遣選手団

大会名 Aquece Rio-International BMX Challenge (UCI クラス 1)
開催場所 ブラジル・リオデジャネイロ
大会期間 2015年10月2日~4日
派遣期間 2015年9月29日~10月6日
代表選手団

監督 三瓶 将廣 (JCF 強化コーチ)
選手 長迫 吉拓 (岡山・MXインターナショナル)
吉村樹希敢 (大阪・CREDIT Racing)
吉井 康平 (東京・MXインターナショナル)
瀬古 遥加 (三重・至学館大学)

リオ五輪テストイベント (MTB) 日本代表派遣選手団

大会名 Aquece Rio-Mountain Bike Challenge (UCI クラス 2)
開催場所 ブラジル・リオデジャネイロ
大会期間 2015年10月4日~14日
開催期間 2015年10月11日
代表選手団

監督 鈴木 雷太 (JCF 強化コーチ)
選手 山本 幸平 (北海道・Trek Factory Racing)

2015年BMXアジア選手権大会

昨年につき、男子エリート表彰台を独占!



表彰台独占の男子エリート

10月31日ミャンマー・ネピドーで2015年BMXアジア選手権大会が開催され、日本からは男女総勢9名が参戦した。

本大会の決戦の場となったのは、2年前の東南アジア競技大会開催へ向けて建設されたミャンマー初のBMXコースで、天候には恵まれ猛暑は避けられたものの、アジア特有の路面コンディションやフラットコーナーなどにより、今回も決して楽な戦いではなかった。

昨年表彰台を独占した男子エリートクラスには5名の日本人選手が参加し、5名全員が決勝へ進出。決勝は長迫が終始トップをリードし、2年連

続の優勝を決めた。2位に吉村、3位には松下が入り、昨年につき日本チームが表彰台を独占した。

男子ジュニアではアジア選手権初参戦の山口が、予選から1度も前を譲らず初のアジアタイトルを獲得した。準優勝には長谷川が入り、日本勢1-2フィニッシュとなった。

女子エリートには2名の日本人選手が参戦し、昨年ジュニアカテゴリーで優勝した瀬古が3位入賞をはたし、飯端は6位でレースを終えた。

今回、男子カテゴリーでのタイトル死守や、リオ五輪国別参加枠獲得に向けたUCIポイントを獲得できたことはプラスの結果となった。(三瓶 将廣)



エリートの長迫

【競技結果】

2015年BMXアジア選手権大会
(2015/10/31 ミャンマー・ネピドー)

男子エリート

- 1 長迫 吉拓 岡山 MX インターナショナル
- 2 吉村樹希敢 大阪 CREDIT Racing
- 3 松下 翼 神奈川 早稲田大学大学院
- 5 吉井 康平 東京 MX インターナショナル
- 7 三瓶 貴公 神奈川 サイバー大学

女子エリート

- 1 CARR Amanda THA
- 2 LU Yan CHN
- 3 瀬古 遥加 三重 至学館大学
- 6 飯端 美樹 大阪 MX インターナショナル

男子ジュニア

- 1 山口 大地 新潟 Yess Factory Team
- 2 長谷川湧斗 茨城 常磐大学高等学校
- 3 KAEWSRIKHAO Sitthichok THA

女子ジュニア (日本不出場)

- 1 FINES Sienna Elaine PHI
- 2 KITWANITSATHIAN Chutikan THA
- 3 ZIN MOE Khing MYA



ジュニアの山口

2015年BMXアジア選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015年BMXアジア選手権大会
開催場所 ミャンマー・ネピドー
大会日程 2015年10月29日～11月1日
派遣期間 2015年10月28日～11月2日
代表選手団

監督 三瓶 将廣 (連盟BMX強化コーチ)
メカニック 光武 正勝 (連盟強化支援スタッフ)
選手

男子エリート

長迫 吉拓 (岡山・MXインターナショナル)
吉井 康平 (東京・MXインターナショナル)
松下 翼 (神奈川・早稲田大学大学院)
吉村樹希敢 (大阪・CREDIT Racing)
三瓶 貴公 (神奈川・サイバー大学)

女子エリート

飯端 美樹 (大阪・MXインターナショナル)
瀬古 遥加 (三重・至学館大学)

男子ジュニア

山口 大地 (新潟・Yess Factory Team)
長谷川湧斗 (茨城・常磐大学高等学校)

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

2015年UCIトライアル世界選手権大会 (2015/8/31-9/5 アンドラ公国・ヴァルノド)

国別対抗

1 フランス	680p
2 スイス	670p
3 ドイツ	670p
6 日本 寺井・塩崎・飯塚	380p

男子U19

1 MUSTIELES Abe ESP	26p
2 LEISER Lucien SUI	34p
3 ROS Benito ESP	36p
5 寺井 一希 埼玉 チームリケーン	43p
30 山田 喜靖 長野	75p

男子ジュニア 26

1 VALLEE Nicolas FRA	6p
2 OSWALD Dominik GER	8p
3 FLEURY Nicolas FRA	36p
14 塩崎 太夢 山梨 甲府工業高校	60p

2015年UCIマウンテンバイク世界選手権大会 (2015/8/31-9/6 アンドラ公国・ヴァルノド)

チームU19 (16.8km)

1 FRANCE	52:45:00
2 DENMARK	+0:24
3 ITALY	+1:01
21 日本 山本・沢田・末政・平林	+6:03

XCO男子U19 (25.2km)

1 SCHURTER Nino SUI	1:29:22
2 ABSALON Julien FRA	+0:10
3 CINK Ondrej CZE	+1:15
45 山本 幸平 北海道 Trek Factory	+11:02
74 武井 亨介 茨城 Forza・Yonex	-2laps
96 門田 基志 愛媛 Team GIANT	-4laps

XCO女子U19 (25.2km)

1 FERRAND PREVOT Pauline FRA	1:52:44
2 KALENTYEVA Irina RUS	+0:58
3 BELOMOINA Yana UKR	+1:36
44 末政 実緒 兵庫 SRAM/LITEC	-1lap

XCO男子U23 (21.0km)

1 COOPER Anton NZL	1:22:03
2 KORETZKY Victor FRA	+0:02
3 FERGUSON Grant GBR	+0:22
69 沢田 時 長野 BS ANCHOR	-1lap

XCO女子U23 (21.0km)

1 FORCHINI Ramona SUI	1:37:23
2 TERENTYEVA Olga RUS	+0:39
3 RISSVEDS Jenny SWE	+1:01

XCO男子ジュニア (21.0km)

1 ANDREASSEN Simon DEN	1:13:27
2 BRANDL Maximilian GER	+0:47
3 BERNAL Egan COL	+1:19
23 平林 安里 長野 白馬高等学校	+8:21
46 竹内 遼 長野 Westberg	+12:55
66 山田 将輝 長野 Limited846	-1lap

XCO女子ジュニア (16.8km)

1 BERTA Martina ITA	1:08:40
---------------------	---------

2 RICHARDS Evie GBR	+1:20
3 KOLLER Nicole SUI	+2:27
佐藤 寿美 北海道 TEAM BG8	DNF

DHI男子U19 (2.5km)

1 BRUNI Loic FRA	4:19.585
2 MINNAAR Greg RSA	+2.365
3 BRYCELAND Josh GBR	+4.776
82 永田 隼也 神奈川 AKI Fact.	+1:02.661

DHI女子U19 (2.5km)

1 ATHERTON Rachel GBR	5:08.488
2 CARPENTER Manon GBR	+3.238
3 HANNAH Tracey AUS	+9.973

DHI男子ジュニア (2.5km)

1 GREENLAND Laurie GBR	4:32.839
2 MAES Martin BEL	+3.264
3 FREW Jackson AUS	+11.585
42 泉野 龍雅 愛知 豊橋橋丘	+50.418

DHI女子ジュニア (2.5km)

1 CABIROU Marine FRA	6:21.379
2 GIMENEZ Viktoria FRA	+7.240
3 MEGYASZAI Lilla HUN	+26.828

JBCFタイムトライアルチャンピオンシップス (2015/9/6 栃木・渡良瀬遊水地)

P1クラス (15.9km)

1 増田 成幸 宇都宮ブリッツェン	20:03.88
2 佐野 淳哉 那須フューゼン	20:09.60
3 木村・フジヨル Team UKYO	20:13.27
4 西園 良太 ブリヂストンアンカー	20:13.58
5 鈴木 謙 宇都宮ブリッツェン	20:28.85
6 純・ヒゼン・トビオ トリックスハワータク	20:29.26

Fクラス (5.3km)

1 坂口 聖香 パナソニックレディーズ	7:32.97
2 伊藤 杏菜 Champion System	7:51.92
3 坂口 楓華 播磨南高校	8:05.62

第29回 ツールド・北海道 2015 (2015/9/11-13 北海道・道北)

個人総合順位

1 スタキティ リカルド NIPPO	13:24:04
2 コリダニエ NIPPO	13:24:11
3 ガルディオラ サルヴァトル チーム右京	13:24:21
4 トビオオホセ ヴァンセンテ マトリックス	13:24:23
5 西園 良太 BSアンカー	13:24:24
6 プラテス レウエル マトリックス	13:24:25

第1ステージ (188km)

1 スタキティ リカルド NIPPO	4:26:25
2 サンタ・ラント スコット バジネット	4:26:26
3 ヴェルスヒュレ セッパ CCT p/b	4:26:26

第2ステージ (162km)

1 コリダニエ NIPPO	4:17:22
2 ガルディオラ サルヴァトル チーム右京	4:17:22
3 トビオオホセ ヴァンセンテ マトリックス	4:17:22

第3ステージ (200km)

1 スタキティ リカルド NIPPO	4:40:39
2 コリダニエ NIPPO	4:40:39
3 黒枝 咲哉 鹿屋体育大	4:40:39

ポイント賞

1 コリダニエ NIPPO	55p
---------------	-----

山岳賞

1 テリアック ロイック キン サイクリング	18p
------------------------	-----

チーム総合順位

1 NIPPO ヴァンティニ ファンティニ	40:13:20
2 ブリヂストンアンカーサイクリング チーム	40:13:21
3 キン サイクリング チーム	40:13:21

MTB CJ-1 ウィングヒルズ白鳥リゾート DHI (2015/9/12-13 岐阜・郡上市)

男子U19

1 清水 一輝 愛知 PATROL	2:44:816
2 井本はじめ 兵庫 SRAM	2:47:182
3 加藤 将来 愛知 AKI Fact.	2:50:996

女子U19

1 中川 弘佳 大阪 lovespo	3:47.576
2 九島あかね 神奈川 玄武 Turner	3:53.542
3 安福 範子 愛知 ACCEL	3:27.737

男子マスターズ

1 栗野宏一郎 岐阜 KYB R.	3:12.040
2 黒川陽二郎 石川 FRS	3:20.486
3 清水 淳 神奈川 drop8	3:28.069

男子U17

1 井岡 佑介 愛知 HottSpin	2:53.805
2 宇津孝太郎 神奈川 カムクリコック	3:01.872
3 井岡 計太 愛知 HottSpin	3:08.679

2015安芸高田国際BMX (2015/9/13 広島・安芸高田)

男子U19

1 吉村樹希敢 大阪 CREDIT RACING	
2 吉井 康平 東京 モトクロスインターナショナル	
3 阪本 章史 大阪 Athlete Japon	

女子U19

1 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE	
2 飯端 美樹 大阪 SE Racing	

日本スホー・マスターズ 2015 (2015/9/19-20 石川・石川県立自転車競技場)

男子スプリント (1部)

1 張 南 赫 KOR	
2 金 煥 一 KOR	
3 趙 榮 日 KOR	

男子スプリント (2部)

1 若松 正一 石川 明和工業	
2 西村 均 島根 イワミ村田製作所	
3 申 洋 雨 KOR	

男子スプリント (3部)

1 松島 伸安 群馬 群馬グリーンレーシング	
2 水澤 耕一 東京 やまて企業組合	
3 高橋 文仁 大分 東芝セミコンダクター	

男子スプリント (4部)

1 古本 清文 富山 古本製作所	
2 青沼 洋 山梨	
3 等々力公英 長野 長野県交通警備	

男子スプリント (5部)

1 越猪 澄 愛知	
2 福島 雄二 熊本 ハステックス熊本	
3 遠山 良夫 埼玉 チーム・フアンボ	

男子スプリント (6部)

1 若杉 平雄 愛知 自営	
2 村上 友徳 福岡 新日鐵住金製鐵	
3 羽鳥 浩 神奈川 大明建設	

男子ケリソ (1部)

- 森 俊文 愛知 ミズナ自転車
- 武井 秀周 長野 アルパリック
- 熊田 智成 香川 四電ビジネス

男子ケリソ (2部)

- 荒上 光亮 福岡 ファンサイクル
- 亀山 尊仁 神奈川 東燃セネラル石油
- 長沢 和幸 埼玉 CCEJP

男子ケリソ (3部)

- 市川 英昭 神奈川 富士建設
- 布施 義憲 東京 CYCLO NERO
- 高橋 文仁 大分 東芝セミコンダクター

男子ケリソ (4部)

- 濱中 康志 兵庫 HMNK
- 平野 政一 山口 防府市役所
- 等々力公英 長野 長野県交通警備

男子ケリソ (5部)

- 越猪 澄 愛知
- 吉村 慎二 岐阜
- 門松 克己 大阪 マルナ

男子ケリソ (6部)

- 榊 敏晴 青森 コトリ
- 村上 友徳 福岡 新日鐵住金製鐵
- 若杉 平雄 愛知 自営

男子1kmタイムトライアル (1部)

- 鳶田 吉成 大阪 1:13.386
- 為国 孝志 山口 東ソ 1:15.083
- 李 濟 麟 KOR 1:16.363

男子1kmタイムトライアル (2部)

- 西村 均 島根 ｲｸﾐ村田製 1:12.697
- 松本 貞行 京都 1:12.947
- 佐野 陽三 富山 KATEKYO 1:13.450

男子1kmタイムトライアル (3部)

- 羽田野隆彦 東京 大鵬薬品 1:13.092
- 水澤 耕一 東京 やまて企業 1:14.133
- 市川 英昭 神奈川 富士建設 1:15.344

男子1kmタイムトライアル (4部)

- 矢野 賢児 高知 JKA 1:12.057
- 笹原 康彦 岐阜 花の木歯科 1:12.208
- 古本 清文 富山 古本製作所 1:12.624

男子1kmタイムトライアル (5部)

- 福島 雄二 熊本 ハステックス 1:16.359
- 田中 謙治 山口 周南警察 1:17.464
- 吉村 慎二 岐阜 1:18.440

男子1kmタイムトライアル (6部)

- 高橋 秀樹 静岡 ヤマハ 1:20.125
- 小田 秀明 静岡 1:21.313
- 伊藤 茂 広島 いたう歯科 1:21.921

男子3km個人バシユト (1部)

- 高橋 匡司 静岡 トヨタケニカ 3:58.592
- 山崎 慎也 大分 池田商店 4:00.280
- 為国 孝志 山口 東ソ 4:03.086

男子3km個人バシユト (2部)

- 松岡 亮 兵庫 松岡クニック 3:55.957
- 山口 忠行 広島 VICTOIRE 3:58.013
- 山田 哲治 高知 宇治電化 4:01.178

男子3km個人バシユト (3部)

- 藤田 晃三 岩手 プリヂェストン 3:49.111
- 芝池 伸憲 三重 鈴鹿水道 4:01.195
- 倉澤 公弘 山梨 甲府役所 4:01.516

男子3km個人バシユト (4部)

- 矢野 賢児 高知 JKA 3:49.039
- 安東 秀倫 岡山 河会郵便 4:02.398
- 表 寿史 石川 ホンダカース 4:06.916

男子3km個人バシユト (5部)

- 田中 謙治 山口 周南警察 4:09.236
- 吉川 伸 奈良 よしかわ歯 4:16.206
- 川岸 弘昌 富山 北陸整備 4:24.380

男子3km個人バシユト (6部)

- 高橋 秀樹 静岡 ヤマハ 4:13.985
- 小田 秀明 静岡 4:15.118
- 渡辺 正彦 埼玉 Alphawk 4:23.741

男子ポイントレース (1・2部)

- 山口 忠行 広島 VICTOIRE 20p
- 山田 哲治 高知 宇治電化学工業 19p
- 高橋 匡司 静岡 トヨタケニカ 17p

男子ポイントレース (3・4部)

- 羽田野隆彦 東京 大鵬薬品工業 20p
- 藤田 晃三 岩手 プリヂェストンサイクル 17p
- 増子 徳雄 福島 信栄工業 13p

女子スプリント

- 濱田 真子 東京
- 八幡富美代 石川 桜ヶ丘病院
- 高瀬 英子 群馬 環境整備高崎センター

女子500mタイムトライアル

- 和地 恵美 神奈川 40.906
- 岡本亜耶子 広島 42.202
- 小沼美由紀 埼玉 やまねメイカ 42.429

女子2km個人バシユト

- 小沼美由紀 埼玉 やまね 2:50.787
- 岡本亜耶子 広島 2:53.994
- 和地 恵美 神奈川 2:55.017

女子2km個人バシユト (Iザンビション)

- 李 順 鎮 KOR 3:09.518
- 李 美 善 KOR 3:16.509

※ 男子1部 (35歳以上、40歳未満)
男子2部 (40歳以上、45歳未満)
男子3部 (45歳以上、50歳未満)
男子4部 (50歳以上、55歳未満)
男子5部 (55歳以上、60歳未満)
男子6部 (60歳以上)
女子 (35歳以上)

2015室内自転車競技ジャパンカップ
(2015/9/21 大阪・梅田東コミュニティ会館)

サイクルサッカー

- GER 1 Eric Haedicke/Max Rückschloss
- VfL 東京 松田 鋼・山縣 智
- GER 2 Anthony Zöller/Tom Hermann

サイクルバイク男子

- Julius Bitter GER 132.44p
- 芦田 史朗 滋賀フルレクエンジニア 98.47p

サイクルバイク女子

- Annika Klotz GER 108.39p
- 近藤 菜月 滋賀フルレクエンジニア 90.27p
- 佐藤 風沙 京都産業大学 86.40p

JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ
(2015/9/26-27 群馬・群馬CSC)

P1クラス (174km)

- 畑中 勇介 Team UKYO 4:25:49
- 鈴木 真理 宇都宮ブリッツェン
- 野中 竜馬 KINAN Cycling Team
- Team UKYO +0:01

5 純ビシユトにバイオメトリックスワーク

6 ジャイコフロード KINAN Cycling Team

Fクラス (60km)

- 坂口 聖香 パナソニックレーニス 1:53:36
- 牧瀬 翼 ASAHI MUUR ZERO
- 金子 広美 イナメ信濃山形-EFT

Yクラス (72km)

- 福田 圭晃 Bfy Racing 2:01:31
- 日野 泰静 チームクローン
- 平林 楓輝 松山聖陵高等学校

団体成績

- Team UKYO 3800p
- 宇都宮ブリッツェン 2600p
- KINAN Cyclig Team 2500p

MTB CJ-U 勢和多気国際クロスカントリー大会
(2015/10/4 三重・多気町)

男子リト (28.8km)

- 門田 基志 愛媛 GIANT 1:24:50.8
- 平野 星矢 長野 Anchor 1:25:06.8
- 松尾 純 神奈川 MIYATA 1:25:59.2

女子リト (19.2km)

- 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:07:19.6
- 小林可奈子 長野 安曇野 1:11:09.7
- 中島 峻歩 山梨 maillot 1:14:44.2

男子ジュニア (19.2km)

- 平林 安里 長野 Westberg J 56:04.9
- 竹内 遼 長野 Westberg J 56:23.3
- 本田 彬 北海道 GreenGrips 1:00:51.0

女子ジュニア (9.6km)

- 佐藤 寿美 北海道 BG8 A 37:34.2
- 石田 恵 京都 リミテッド 846 41:28.2

男子マスターズ (19.2km)

- 植川 英治 静岡 キンソCC 1:03:08.0
- 山田敬士朗 福岡 Q-MAX 1:04:48.4
- 見 学 東京 B・B・Q 1:05:04.5

男子ユース (14.4km)

- 北林 力 長野 Westberg J 44:00.1
- 村上功太郎 愛媛 こけむしろ 45:48.2
- 神永 真一 大阪 Westberg J 45:54.4

女子ユース (9.6km)

- 山田 夕貴 北海道 BG8 A 36:54.4

2015ACCトラックアジアカップ
(2015/10/9-11 タイ・バンコク)

男子リトスプリント

- RASOL Muhammad Khairil Nizam MAS
- 野上 竜太 岡山 鹿屋体育大学
- 堀 航輝 香川 鹿屋体育大学

男子リトケリソ

- RASOL Muhammad Khairil Nizam MAS
- MOHAMMED SHAHRIL Marnad Saizid Elendi MAS
- TAPIMAY Pongthep THA
- 野上 竜太 岡山 鹿屋体育大学
- 堀 航輝 香川 鹿屋体育大学

男子リトスクラッチ (15km)

- 窪木 一茂 和歌山 県庁 / チーム右京
- 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学
- SIRIONNACHAI Sarawat THA

男子リトスロム

- 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学 306p

- 2 窪木 一茂 和歌山 県庁 / チーム右京 290p
3 SHAEKHOV Vadim UZB 209p

女子110mTT

- 1 前田佳代乃 京都 36.926
2 Deborah IND 37.054
3 MOHAMMED ADNAN Farina Shahwali MAS 38.940

女子110mスプリット

- 1 Deborah IND
2 前田佳代乃 京都
3 大久保花梨 福岡 祐誠高校

女子110mケリツ

- 1 大久保花梨 福岡 祐誠高校
2 MANEEPHAN Jutatip THA
3 前田佳代乃 京都

女子110mスクラッチ (10km)

- 1 DIAO Xiao Juan HKG
2 鈴木 奈央 静岡 日本競輪学校
3 MANEEPHAN Jutatip THA

女子110mポイントレース (20km)

- 1 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大学院 56p
2 NUNTANA Supaksorn THA 47p
3 GENELEVA Nadezhda KAZ 40p

女子110mホム27m

- 1 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大学院 255p
2 DIAO Xiao Juan HKG 235p
3 鈴木 奈央 静岡 日本競輪学校 232p

女子110mチームスプリント

- 1 日本 前田・大久保 48.850
2 THAILAND 49.150
3 KAZAKHSTAN 55.250

JBCF 輪島ロードレース

(2015/10/11 石川・輪島)

P1クラス (88.6km)

- 1 ハンプロウスタス Team UKYO 2:33:13
2 増田 成幸 宇都宮プリック
3 ハンプロウスタス マトリックスワーク + 0:01
4 輪島ロードレース Team UKYO + 0:04
5 山下 貴宏 江ノ島 奈良 + 0:48
6 畑中 勇介 Team UKYO + 1:14

Fクラス (25.6km)

- 1 松田百合子 竹芝サイクリング 53:14
2 伊藤 杏菜 Champion System + 1:10
3 菊地 香 なるしまフレンド + 5:57

Coupe du Japon MTB

CJ1 白山一里野温泉大会

(2015/10/11-12 石川・白山)

DHI男子110m

- 1 MacDonald Brook NZL 3:22.638
2 九島 勇気 神奈川 玄武 3:25.609
3 浅野 善亮 愛知 GIANT 3:32.138

DHI女子110m

- 1 中川 弘佳 大阪 lovespo 7:00.005
2 安福 範子 愛知 ACCEL 8:45.320
3 九島あかね 神奈川 玄武Turner 9:05.734

DHI男子マスタース

- 1 黒川陽二郎 石川 FRS 4:49.685
2 池田 大昌 香川 Swankys 4:51.143
3 唐木 雅文 神奈川 重力技研 5:33.317

DHI男子110m

- 1 井岡 佑介 愛知 Hott Spin 3:34.721

- 2 井岡 計太 愛知 Hott Spin 4:21.070
3 幸田 玲音 東京 team AST 4:51.640

XCO男子110m (31.75km)

- 1 小野寺 健 神奈川 MIYATA 1:36:07.13
2 斉藤 亮 長野 Anchor 1:36:51.67
3 恩田 祐一 新潟 BH R. 1:36:59.02

XCO女子110m (23.45km)

- 1 小林可奈子 長野 安曇野 1:30:19.22
2 相野田静香 長野 SRAM 1:34:59.84
3 中島 峻歩 三重 maillot 1:38:14.71

XCO男子ジュニア (23.45km)

- 1 平林 安里 長野 Westberg 1:07:43.98
2 竹内 遼 長野 Westberg 1:11:19.40
3 山田 将輝 長野 Limited 1:16:23.79

XCO男子マスタース (23.45km)

- 1 植川 英治 静岡 キヤノCC 1:19:08.40
2 小田島貴弘 神奈川 maillot 1:19:45.43
3 塩見 学 東京 B・B・Q 1:23:07.83

XCO女子マスタース (15.15km)

- 1 真川 好美 愛知 Nipopo 1:09:58.22
2 坂井 優子 長野 SICK 1:25:20.05

XCO男子110m (15.15km)

- 1 山口 創平 滋賀 Westberg 48:56.59
2 小林 勇輝 長野 イーメ信濃 50:20.92
3 神永 真一 大阪 Westberg 50:56.79

XCO女子110m (11.0km)

- 1 小林あかり 長野 安曇野 43:10.12
2 松本 璃奈 長野 MASHUN 48:34.43

MTB CJ-1 富士見パノラマ大会

(2015/10/17-18 長野・富士見)

DHI男子110m

- 1 九島 勇気 神奈川 玄武 2:26.062
2 加藤 将来 愛知 AKI Fact. 2:27.044
3 清水 一輝 愛知 PATROL 2:28.709

DHI女子110m

- 1 九島あかね 神奈川 玄武Turner 3:08.840
2 中川 弘佳 大阪 lovespo 3:12.028
3 安福 範子 愛知 ACCEL 3:20.307

DHI男子マスタース

- 1 栗野宏一郎 岐阜 KYB R. 2:51.972
2 黒川陽二郎 石川 FRS 2:55.205
3 水野 友作 静岡 INSANES 2:55.562

DHI男子110m

- 1 井岡 佑介 愛知 HottSpin 2:33.420
2 宇津孝太郎 神奈川 マクリコロッケ 2:39.695
3 井岡 計太 愛知 HottSpin 2:43.455

XCO男子110m (26.88km)

- 1 小野寺 健 神奈川 MIYATA 1:28:01.43
2 平野 星矢 長野 Anchor 1:29:13.09
3 門田 基志 愛知 GIANT 1:29:31.80

XCO女子110m (17.92km)

- 1 小林可奈子 長野 安曇野 1:12:50.65
2 中込由香里 長野 maillot 1:17:08.51
3 相野田静香 長野 SRAM 1:18:09.79

XCO男子ジュニア (17.92km)

- 1 平林 安里 長野 Westberg 58:43.84
2 竹内 遼 長野 Westberg 1:01:14.22
3 江越 昇也 神奈川 Westberg 1:03:44.55

XCO女子ジュニア (13.44km)

- 1 佐藤 寿美 北海道 BG8 A 58:13.48

XCO男子マスタース (17.92km)

- 1 竹谷 賢二 埼玉 Specialized 1:03:26.28
2 多田 尚史 東京 赤ヶ崎 1:06:12.56
3 村田 隆 長野 快レーシング 1:06:32.55

XCO女子マスタース (13.44km)

- 1 真川 好美 愛知 Nipopo 1:05:38.78
2 辻 瑞穂 神奈川 HEART 1:11:59.18
3 坂井 優子 長野 SICK 1:21:14.93

XCO男子110m (8.96km)

- 1 山口 創平 滋賀 Westberg J 31:12.06
2 石川 絃 愛知 サッカーズ 31:45.60
3 北林 力 長野 Westberg J 31:58.44

XCO女子110m (8.96km)

- 1 山田 夕貴 北海道 BG8 A 37:41.99
2 小林あかり 長野 安曇野 38:09.13
3 松本 璃奈 長野 MASHUN 43:13.95

第11回全国ジュニア自転車競技大会

(2015/10/25 三重・四日市)

A-J男子ジュニア (90.0km)

- 1 花田 聖誠 東京 昭和一 2:22:42.662
2 溝口 智貴 福岡 北桑田 2:22:55.318
3 大前 翔 神奈川 慶応高 2:22:58.683
4 徳田 匠 京都 北桑田 2:22:58.744
5 吉岡 衛 奈良 奈良北 2:22:58.771
6 平林 楓輝 愛媛 聖陵高 2:22:59.919

A-Y男子アンダー17 (54.0km)

- 1 嶋崎 優仁 静岡 伊豆総 1:24:35.178
2 日野 泰静 愛媛 小松中 1:24:35.225
3 井手口滝吾 鹿児島 南大隅 1:24:35.334
4 平林 飛都 愛媛 聖陵高 1:24:35.990
5 西原裕太郎 奈良 榛生昇 1:24:36.290
6 三好憲士郎 奈良 榛生昇 1:24:37.055

A-F女子ジュニア (36.0km)

- 1 野寺 楓 静岡 伊豆総 1:07:02.742
2 川嶋 百香 三重 川越高 1:07:03.067
3 菅原 朱音 鳥取 倉吉総 1:07:05.233

A-F女子アンダー17 (36.0km)

- 1 下山美寿々 大阪 天王寺 1:05:53.605
2 長石 悠里 鳥取 倉吉西 1:07:04.251
3 平尾 愛菜 岐阜 星和中 1:07:05.890

B-1小学校1・2年生男子 (5.0km)

- 1 松井 颯良 三重 中部西小 10:03.716
2 野崎 然新 東京 多摩川小 10:26.749
3 内田 樂 愛知 市が洞小 10:35.088

B-2小学校1・2年生女子 (2.6km)

- 1 福山 颯希 滋賀 瀬田東小 6:05.682
2 瀬戸山萌音 三重 一身田小 6:14.874
3 伊藤 桃奈 千葉 東部小 6:28.317

B-3小学校3・4年生男子 (9.2km)

- 1 森本真波斗 愛媛 河野小 17:46.730
2 木綿 峻介 北海道 帯広啓西 18:27.733
3 内田 凜 愛知 市が洞小 18:47.509

B-4小学校3・4年生女子 (9.2km)

- 1 橋本 のこ 愛知 星の宮小 19:34.597
2 竹中 希春 京都 桃山小 19:38.739
3 柘植 七覇 愛知 弥生小 21:49.673

B-5小学校5・6年生男子 (18.2km)

- 1 渡辺 耶斗 東京 練馬第二 32:23.857
2 森本凜太郎 愛媛 河野小 33:19.345
3 梅澤 幹太 愛媛 道後小 33:54.711

B-6 小学校 5・6 年生女子 (9.2km)

- 1 大蔵こころ 長野 赤穂南小 17:50.142
- 2 奥居 鈴歌 東京 港南小 18:02.660
- 3 石上 琴乃 神奈川 釜利谷小 18:06.543

B-7 中学生男子 (36.0km)

- 1 高木 英行 京都 高槻中 1:00:50.682
- 2 林 祐作 愛知 名古屋 1:00:50.795
- 3 津田 悠義 愛知 守山中 1:00:51.404

B-8 中学生女子 (18.0km)

- 1 渡部 春雅 神奈川 はるひ野 33:21.389
- 2 村場 里咲 鹿児島 鹿大附中 33:24.199
- 3 畑 昭音 鳥取 岸本中 34:04.915

B-9 高校生男子 (36.0km)

- 1 森崎 英登 愛知 愛産工 1:01:19.534
- 2 大澤 昌輝 愛知 東海工 1:01:20.739
- 3 前田 陵 兵庫 小野工 1:01:20.756

B-10 高校生女子 (27.0km)

- 1 松井香菜乃 宮崎 都城工 1:00:53.207
- 2 早川 有華 三重 暁高

C-1 小学校 1・2 年生男子 (2.6km)

- 1 井上 悠憲 石川 館野小 6:44.491
- 2 鎌田 翔太 大阪 国府小 7:12.206
- 3 山中 航輝 三重 桜台小 7:25.294

C-2 小学校 1・2 年生女子 (2.6km)

- 1 伊藤 桃奈 千葉 東部小 6:52.507
- 2 西原 夕華 大阪 島本第一 7:41.702
- 3 瀬戸山萌花 三重 一身田小 7:48.268

C-3 小学校 3・4 年生男子 (2.6km)

- 1 大蔵 悟生 長野 赤穂南小 5:39.337
- 2 加藤 知暉 愛知 幡山西小 6:42.936
- 3 鎌田 涼雅 三重 水沢小 6:43.954

C-4 小学校 3・4 年生女子 (2.6km)

- 1 鎌田 美羽 三重 水沢小 7:34.743
- 2 ナダトモエ 三重 高野尾小 9:32.298
- 3 矢田帆乃霞 三重 小山田小 10:58.071

C-5 小学校 5・6 年生男子 (2.6km)

- 1 酒井 寛大 三重 朝日小 5:24.684
- 2 堀口 晴吾 奈良 大宮小 5:36.856
- 3 中西 慶輔 三重 水沢小 5:45.838

C-6 小学校 5・6 年生女子 (2.6km)

- 1 大蔵こころ 長野 赤穂南小 5:13.765
- 2 下山 美晴 大阪 城南学園 6:19.769
- 3 大西 涼羽 大阪 上四条小 7:12.625

M-1 未就学児 3 歳以上 38 名完走

2015-2016トラック・ロード・カッパ第1戦加大会
(2015/10/30-11/1 日光・ア・カ)

男子スプリント

- 1 DMITRIEV Denis RUS
- 2 HOOGLAND Jeffrey NED
- 3 NIEDERLAG Max GER
- 24 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本
- 40 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木

男子ケリッ

- 1 EILERS Joachim GER
- 2 GLAETZER Matthew AUS
- 3 DAWKINS Edward NZL
- 6 脇本 雄太 JPCA JPCU 福井/JPC
- 31 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島

男子チームスプリント

- 1 Germany GER 43.095

- 2 Poland POL 43.748
- 3 Netherlands NED 43.106
- 17 日本 雨谷・渡邊・中川 45.660

男子ヒルクライム

- 1 MANAKOV Viktor RUS 182p
- 2 KLUGE Roger GER 178p
- 3 VIVIANI Elia ITA 173p
- 19 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学 42p

女子スプリント

- 1 ZHONG Tianshi CHN
- 2 GUO Shuang MSP
- 3 LEE Wai Sze HKG
- 27 前田佳代乃 京都/JPC
- 36 石井 貴子 JPCA JPCU 千葉

女子ケリッ

- 1 VOGEL Kristina GER
- 2 GUO Shuang MSP
- 3 GNIDENKO Ekaterina RUS
- 11 前田佳代乃 京都/JPC
- 17 加瀬加奈子 JPCA JPCU 新潟

女子スクラッチ

- 1 SIERRA CANADILLA Arlenis CUB
- 2 KOPECKY Lotte BEL
- 3 VALENTE Jennifer USA
- 12 上野みなみ 青森 鹿体大大学院 -1lap

女子ヒルクライム

- 1 TROTT Laura GBR 213p
- 2 BERTHON Laurie FRA 160p
- 3 HAMMER Sarah USA 153p
- 15 塚越さくら 鹿児島 鹿体大大学院 80p

女子チームスプリント

- 1 China CHN 32.311
- 2 Jayco-Ais JAY 32.588
- 3 Rusvelo RVL 32.605
- 15 日本 石井・加瀬 35.471

女子チームヒルクライム

- 1 Canada CAN 4:20.139
- 2 United States USA 4:25.826
- 3 Great Britain GBR 4:26.662
- 14 日本 塚越・梶原・鈴木・上野 4:39.226

MTB CJ-2 茶源郷京都和束 SATAGE
(2015/11/1 京都・和束)

XCO 男子スプリント (23.55km)

- 1 大淵 宏紀 大阪 Decoja 1:31:55.48
- 2 戸谷 亮司 長野 Sakura 1:35:37.91
- 3 江下健太郎 福岡 エス・フランス 1:36:37.44

XCO 男子ジュニア (14.13km)

- 1 山田 将輝 長野 Limited846 54:38.62
- 2 加藤 昂也 岐阜 Westberg1:09:22.48

XCO 女子ジュニア (9.42km)

- 1 石田 恵 京都 リミテッド 846 58:37.00

XCO 男子マタース (14.13km)

- 1 米山 修 埼玉 埼玉県人 1:03:58.56
- 2 荒巻 俊介 福岡 Independent 1:04:58.81
- 3 星野 貴哉 愛知 ササース 1:06:48.16

XCO 男子1-3 (9.42km)

- 1 神永 真一 大阪 Westberg 36:42.84
- 2 山口 創平 滋賀 Westberg 39:17.78
- 3 菅原 清太 愛知 リミテッド 846 40:06.02

東北 CX フォーエブ猪苗代ウインド (UCI-2)
(2015/11/1 福島・猪苗代)

男子スプリント (30km)

- 1 小坂 光 宇都宮ブリッヂ CX1:07:46
- 2 丸山 厚 BOMA RACING +0:20
- 3 小坂 正則 スワローシングチーム +0:22
- 4 濱 由嵩 SPEEDVAGEN +0:52
- 5 武井 亨介 FORZA・YONEX +2:30
- 6 中原 義貴 弱虫ハタシクロクロス +2:58

女子スプリント (15km)

- 1 與那嶺恵理 サカハシ FX 証券 40:02
- 2 宮内佐季子 La.sista Offroad +0:29
- 3 武田 和佳 Liv +0:39
- 4 今井 美穂 CycleClub.jp +3:15
- 5 川崎 路子 PAXPROJECT +5:24
- 6 上田 順子 タム部 +5:44

第 21 回日韓学生対抗自転車競技大会
(2015/11/3-4 大韓民国・全羅南道)

男子高校スプリント

- 1 Jeong Yun Hyeok KOR
- 2 Kim Chung Su KOR
- 3 田中 克尚 岡山 岡山工業高校

男子高校 1km タイムトライアル

- 1 Jeong Yun Hyeok KOR 1:07.636
- 2 Kim Do Hyun KOR 1:07.732
- 3 沢田桂太郎 宮城 東北高校 1:08.647

男子高校 3km 個人ヒルクライム

- 1 沢田桂太郎 宮城 東北高校 3:37.713
- 2 Choi Jae woong KOR 3:38.097
- 3 橋本 陸 福岡 祐誠高校 3:39.458

男子高校チームスプリント

- 1 韓国 1:05.093
- 2 日本 梶原・田中・沢田 1:08.845

男子大学スプリント

- 1 Lee Cha Hyun KOR
- 2 小原 佑太 青森 朝日大学
- 3 Seck Hye Yun KOR

男子大学 1km タイムトライアル

- 1 松本 貴治 愛媛 朝日大学 1:07.198
- 2 野上 竜太 岡山 鹿屋体大 1:08.310
- 3 Kim Doo Young KOR 1:08.933

男子大学 4km 個人ヒルクライム

- 1 Kim Dae Hun KOR 4:53.615
- 2 原田 裕成 岡山 鹿屋体大 5:08.076
- 3 原井 博斗 福岡 中央大学 5:08.546

男子大学 4km チームヒルクライム

- 1 日本 小原・野上・原田・原井 4:40.286
- 2 韓国 5:10.341

男子ケリッ

- 1 Kim Chung Su KOR
- 2 Kim Dae Hun KOR
- 3 Lee Jung Seok KOR

男子ポイントレース

- 1 今村 駿介 福岡 祐誠高等学校 25p
- 2 松本 貴治 愛媛 朝日大学 21p
- 3 Choi Jae Woong KOR 14p

女子 500m タイムトライアル

- 1 Jung Seol Hwa KOR 36.811
- 2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工業高 38.400
- 3 Park Su Bin KOR 39.042

- 女子7*リット**
- 1 Park Su Bin KOR
 - 2 Kim Min Jung KOR
 - 3 清水 知美 青森 八戸学院大学

- 女子チーム7*リット**
- 1 日本 細谷・平井 50.320
 - 2 韓国 51.390

- 女子スクラッチ**
- 1 古山 稀絵 東京 昭和第一学園高校
 - 2 Kwak Da Bin KOR
 - 3 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大学

- 女子2km個人パ*シュート**
- 1 江藤里佳子 大分 鹿屋体大 2:43.847

- 2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 2:44.504
- 3 Kwak Da Bin KOR 2:45.563

総合成績

- 1 韓国 77p
- 2 日本 76p

**ツール・おきなわ2015
(2015/11/8 沖縄・北部)**

男子IT*ト(210km)

- 1 クリスティジェン NZL ア*ンティ 5:37.06
- 2 入部正太郎 奈良 シ*ル*シ*ク* +0:13
- 3 マンダシ*ア*リス ESP マ*リ*ク*ス*ガ*ワ*タ*ク* +0:14
- 4 モ*エ*タ*ミアン FRA ア*リ*チ*ス*ト*ン*ア*ン*カ*ー +0:16
- 5 井上 和郎 福井 ア*リ*チ*ス*ト*ン*ア*ン*カ*ー +0:21

- 6 初山 翔 神奈川 ア*リ*チ*ス*ト*ン*ア*ン*カ*ー +0:22

国際女子(100km)

- 1 HUANG Ting Ying TPE 3:20:49
- 2 YANG Qianyu HKG +0:01
- 3 金子 広美 三重 伊*メ*信*濃*山*形 +0:01
- 4 櫻木 祥子 東京 Neilpryde +2:50
- 5 牧瀬 翼 大阪 Asahi Muur +3:54
- 6 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸高 +6:00

国際男子ジ*ニア(140km)

- 1 FUNG Ka Hoo HKG 4:06:01
- 2 富尾 大地 鹿児島 鹿屋体育大学 +0:04
- 3 重満 丈 沖縄 北中城高 +2:16
- 4 YANG Bing You TPE +2:18
- 5 水谷 翔 大阪 SHIMANO +2:19
- 6 黒川 晴智 岡山 東岡山工業高 +2:49



日本新記録 Japan New Record

■女子チーム・スプリント

・400m × 2

女子ジュニア 57" 967 高校スペシャルチーム(平井杏奈、細谷夢菜) 2015/09/28 和歌山・和歌山

NEWS

加盟団体 事務局 住所等変更

●神奈川県自転車競技連盟

〒211-0068 神奈川県川崎市中原区小杉御殿町1-928 CYCLECUBE内 御器谷(みきや)様

TEL: 044-281-5598 FAX: 044-272-9924 E-MAIL: jim@kanagawa-cf.com WEB: http://www.kanagawa-cf.com/

JCF 事務局 人事異動

平成27年11月1日付 <昇進> 佐藤 勝喜 業務部競技課課長 兼 国際事業推進室 国際事業推進課課長

**第21回 日韓学生対抗自転車競技大会
日本代表選手団**

大会名 第21回日韓学生対抗自転車競技大会

開催日程 2015年11月3日~4日

派遣期間 2015年11月2日~5日

開催場所 大韓民国・全羅南道・羅州市

代表選手団

- 団 長 井関 康正 (日本学生自転車競技連盟 副会長)
副団長 井上 正継 (全国高体連自転車競技専門部 副部長)
監 督 (大学) 三宅秀一郎 (日本学生自転車競技連盟 強化普及委員長)
(高校) 川口 敬二 (岡山県立岡山工業高等学校教諭・顧問)
(女子) 大野 直志 (全国高体連自転車競技専門部 強化育成部会長)
総 務 坂井田米治 (全国高体連自転車競技専門部 理事長)
相原 好宏 (南光学園東北高校教諭・顧問)
十時 隆櫻 (日本学生自転車競技連盟 学生委員長)

選 手

- 男子 松本 貴治 (愛媛・朝日大学)
大学 小原 佑太 (青森・朝日大学)
野上 竜太 (岡山・鹿屋体育大学)
原田 裕成 (岡山・鹿屋体育大学)
原井 博斗 (福岡・中央大学)
男子 梶原 大地 (福岡・祐誠高等学校)
高校 田中 克尚 (岡山・岡山工業高校)
沢田桂太郎 (宮城・東北高校)
今村 駿介 (福岡・祐誠高等学校)
橋本 陸 (福岡・祐誠高等学校)
女子 清水 知美 (青森・八戸学院大学)
江藤里佳子 (大分・鹿屋体育大学)
細谷 夢菜 (埼玉・浦和工業高校)
平井 杏奈 (福岡・祐誠高等学校)
古山 稀絵 (東京・昭和第一学園高等学校)

**2015-2016年UCIトラックワールドカップ第1戦
日本代表選手団**

大会名 2015-2016 UCIトラックワールドカップ第1戦

開催日程 2015年10月30日~11月1日

派遣期間 2015年10月24日~11月4日

開催場所 コロンビア・カリ

代表選手団

- 監 督 坂本 勉 (短距離ヘッドコーチ)
コーチ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
小田島梨絵 (強化コーチ)
メカニック 森 昭雄 (強化支援スタッフ)
齊藤 健吾 (強化支援スタッフ)
マッサー 奥隅 信幸 (強化支援スタッフ)
中山 真臣 (強化支援スタッフ)
スタッフ 村田 正洋 (情報科学スタッフ)
ドクター 内田 彰子 (強化医科学部会員)
通 訳 加藤フリオ (現地通訳)

選 手

- 男子 中川誠一郎 (JPCA・JPCU 熊本)
渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)
雨谷 一樹 (JPCA・JPCU 栃木)
脇本 雄太 (JPCA・JPCU 福井) * JPC チーム
橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)
女子 加瀬加奈子 (JPCA・JPCU 新潟)
石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
前田佳代乃 (京都) * JPC チーム
上野みなみ (青森・鹿屋体育大学大学院)
塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学大学院)
中村 妃智 (千葉・日本体育大学)
鈴木 奈央 (静岡・日本競輪学校)
梶原 悠未 (埼玉・筑波大学附属坂戸高校)

今後の大会予定

期 日	大 会 名	種 目	場 所
11月21日～22日	全日本選手権自転車競技大会-マスターズ/オムニアム	TR	静岡/伊豆ベロドローム
11月22日	関西シクロクロス・マキノラウンド	CX	滋賀/高島
11月28日～29日	信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド1・2	CX	長野/野辺山
12月5日～6日	2015～16 UCIトラックワールドカップ第2戦	TR	ニュージーランド・ケンブリッジ
12月6日	全日本選手権自転車競技大会-シクロクロス	CX	長野/飯山
12月12日～13日	全日本選手権自転車競技大会-室内自転車競技	Indoor	福岡/那珂川
1月16日～17日	2015～16 UCIトラックワールドカップ第3戦	TR	ホンコン・チャイナ
1月19日～24日	第36回アジア自転車競技選手権大会-ロードレース	RR	東京/大島
1月19日～24日	第5回アジア・パラサイクリング選手権大会-ロードレース	PARA	東京/大島
1月26日～30日	第36回アジア自転車競技選手権大会-トラックレース	TR	静岡/伊豆ベロドローム
1月26日～30日	第5回アジア・パラサイクリング選手権大会-トラックレース	PARA	静岡/伊豆ベロドローム
1月30日	UCI世界選手権大会-シクロクロス	CX	ベルギー/ゾルダー

2015台湾トラック
インターナショナル
クラシック大会

日本スポーツ振興センター(JSC)平成27年度ターゲット強化指定として自転車競技トラック女子が選定され、その事業として今大会へ選手団を派遣した。

なお、年度途中のため
の事業により2名の参加
となった。

2015台湾トラックインターナショナルクラシック (CL-1)
(2015/10/2-4 チャイニーズタイペイ・新竹)

女子リト 1km

1	Mei Yu HSIAO	TPE	225p
2	Li HUANG	CHN	204p
3	Hsiao Chia TSENG	TPE	181p
7	古山 稀絵	東京 昭和第一学園	149p
8	橋本 優弥	岐阜 岐阜商業高校	140p

女子リト 3km 個人ハーフシュート

1	Hsiao Chia TSENG	TPE	4:05.985
2	Wing Yee LEUNG	HKG	4:07.175
3	Dinah CHAN	SIN	4:17.292
4	古山 稀絵	東京 昭和第一	4:26.299
5	橋本 優弥	岐阜 岐阜商高	4:17.741

2015台湾トラックインターナショナルクラシック大会
日本代表選手団

大会名 2015台湾トラックインターナショナルクラシック大会

開催場所 チャイニーズタイペイ・新竹市

大会日程 2015年10月2日～4日

派遣日程 2015年9月30日～10月5日

選手団

監督 折本 裕樹 (JCF ジュニア強化育成部会長)

コーチ 塩原 正長 (JCF ジュニア強化育成部会支援スタッフ)

選手 橋本 優弥 (岐阜・岐阜商業高校)

古山 稀絵 (東京・昭和第一学園高校)

2015 ACCトラック アジア カップ
日本代表選手団

大会名 2015 ACCトラック アジア カップ

開催日程 2015年10月9日～11日

派遣期間 2015年10月8日～12日

開催場所 タイ・バンコク Huamark 自転車競技場

代表選手団

監督 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)

コーチ 宮本 文晴 (短距離支援コーチ)

メカニック 森 昭雄 (強化支援スタッフ)

マッサー 奥隅 信幸 (強化支援スタッフ)

スタッフ 村田 正洋 (情報科学スタッフ)

選手

男子短距離

野上 竜太 (岡山・鹿屋体育大学)

堀 航輝 (香川・鹿屋体育大学)

女子短距離

前田佳代乃 (京都)

大久保花梨 (福岡・祐誠高校)

男子中距離

窪木 一茂 (和歌山・和歌山県庁/チーム右京)

橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)

女子中距離

塚越さくら (鹿児島・鹿屋体育大学大学院)

鈴木 奈央 (静岡・日本競輪学校)

連盟の動き (9月初旬～11月中旬)

9月4日	平成27年度第2回競技委員会	於:東京・自転車総合ビル 602会議室
7日	トラック短距離離合宿	於:静岡・伊豆ベロドローム (~9/11)
8日	平成27年度第2回常務理事会	於:東京・自転車総合ビル 601会議室
17日	平成27年度第3回理事会	於:東京・自転車総合ビル 601会議室
24日	ACC理事会	於:アメリカ・リッチモンド
25日	UCI総会	於:アメリカ・リッチモンド
10月8日	ジュニア合宿	於:静岡・伊豆ベロドローム (~10/12)
8日	女子ロード合宿	於:静岡・日本サイクルスポーツセンター (~10/12)
13日	第3回トラック部会	於:東京・自転車総合ビル 6F会議室
14日	第4回ロード競技部会	於:東京・自転車総合ビル 6F会議室
14日	トラック短距離離合宿	於:静岡・伊豆ベロドローム (~10/18)
19日	トラック中距離合宿	於:静岡・伊豆ベロドローム (~10/23)
11月9日	第3回2016年アジア選手権大会実行委員会	於:東京・港区立商工会館 研修室
11日	第1回アンチドーピング委員会	於:東京・自転車総合ビル 601会議室
12日	ジュニア合宿	於:静岡・日本サイクルスポーツセンター (~10/16)
12日	第4回広報部会	於:東京・自転車総合ビル 601会議室

第70回国民体育大会自転車競技

和歌山県チームが天皇杯102点で圧倒的勝利!



少年男子ポイントレース優勝の金田(先頭)



成年男子ケイリン優勝の森本(先頭)



成年男子1km タイムトライアル優勝の松本



少年男子4km 速度競走優勝の今村



成年男子ポイントレース優勝の荒井(先頭)



少年男子ケイリン優勝の三浦(先頭)



成年男子4km 速度競走優勝の橋本



エキジビションの女子スクラッチ

9月27日から10月1日まで和歌山県において「2015 紀の国 わかやま国体」第70回国民体育大会自転車競技会が開催された。

初日はロードレースが印南町黒潮フルーツライン特設コースにおいて、成年男子126.4km、少年男子94.8kmの距離で開催された。

昨年の大会では悪天候のため行われなかったロードレース、地元和歌山の窪木一茂が東京で開催された第68回大会に続いて制覇し、天皇杯獲得に幸先の良いスタートをきった。

大会2日目から和歌山競輪場会場を移しトラックレースが行われた。ここでも地元和歌山が大活躍、チームパーシュートで優勝、チームスプリントで2位になったほか、少年1kmTTの南潤、成年スプリントの橋本凌甫、少年スプリントの布居大地がそれぞれ優勝し、102点という大量得点で見事天皇杯を獲得した。

そして来年からいよいよ正式種目となる女子もケイリン、スクラッチ、チームスプリントのエキシビジョンが行われ、チームスプリントでは日本新記録が樹立された。

また、国体10回出場選手の表彰もレースの表彰時に行われ、地元の窪木を含め4名の選手が表彰された。

【競技結果】

第70回国民体育大会自転車競技会 (2015/9/27-10/1 和歌山・印南/和歌山競輪場)

成年男子個人ロードレース (126.4km)

- 1 窪木 一茂 和歌山 県教育庁 3:42:00

- 2 山本 大喜 奈良 鹿屋体育大 3:42:06
- 3 山本 隼 山梨 UKYO 3:42:30
- 4 齋藤 瞭汰 群馬 日本体育大 3:43:15
- 5 渡邊 誉大 愛知 京都産業大 3:43:32
- 6 安原 大貴 大阪 マリックス 3:43:33

少年男子個人ロードレース (94.8km)

- 1 渡邊 祐希 福島 学法石川高 2:45:49
- 2 金子 宗平 群馬 群馬工高専 2:45:50
- 3 吉岡 衛 奈良 奈良北高 2:46:12
- 4 武山 晃輔 山梨 甲府工業高 2:46:12
- 5 中川 拳 北海道 帯広三条高 2:46:12
- 6 重満 丈 沖縄 北中城高 2:46:12

男子チームスプリント

- 1 愛 媛 松本・柴崎・真鍋 1:16.293
- 2 和歌山 橋本・南・布居 1:16.951
- 3 福 井 寺崎・碓・脇本 1:17.031

男子4kmチームパーシュート

- 1 和歌山 森口・岡本・窪木・佐々木 4:19.929
- 2 岐阜 相馬・渡邊・浦田・橋本_美 4:20.254
- 3 福岡 原井_博・原井_利・橋本_隆・今村 4:24.139

成年男子1kmタイムトライアル

- 1 松本 貴治 愛媛 朝日大 1:05.277
- 2 一丸 尚伍 大分 太陽の家 1:05.637
- 3 小原 佑太 青森 朝日大 1:05.743

少年男子1kmタイムトライアル

- 1 南 潤 和歌山 和歌山北高 1:05.625
- 2 山根 将太 鳥取 倉吉西高 1:06.581
- 3 栗山 和樹 岐阜 岐南工高 1:07.844

成年男子ケイリン

- 1 森本 尊也 高知 明治大
- 2 小林 和希 福岡 明治大
- 3 藤根 俊貴 岩手 順天堂大

少年男子ケイリン

- 1 三浦 大輝 宮城 古川工業高
- 2 山本 英弘 岐阜 岐阜第一高
- 3 嵯峨昇喜郎 青森 八戸工業高

成年男子スプリント

- 1 橋本 凌甫 和歌山 県教育庁
- 2 橋本 瑠偉 佐賀 明治大
- 3 曾我 圭佑 熊本 明治大

少年男子スプリント

- 1 布居 大地 和歌山 和歌山北高
- 2 梶原 大地 福岡 祐誠高
- 3 田中 克尚 岡山 岡山工業高

成年男子ポイントレース (30km)

- 1 荒井 佑太 宮城 法政大学 18p
- 2 原井 博斗 福岡 中京大学 18p
- 3 吉田 隼人 奈良 マリックス 17p

少年男子ポイントレース (24km)

- 1 金田 優作 鳥取 倉吉総合産業高 20p
- 2 徳田 匠 京都 北桑田高 18p
- 3 貝原 涼太 福岡 祐誠高 16p

成年男子4km速度競走

- 1 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大 4:39.05
- 2 原田 裕成 岡山 鹿屋体育大
- 3 伊藤 和輝 東京 早稲田大

少年男子4km速度競走

- 1 今村 駿介 福岡 祐誠高 4:47.572
- 2 永橋 湧也 和歌山 和歌山北高
- 3 安彦 統賀 埼玉 川越工業高

総合成績 天皇杯得点

- 1 和歌山 102p
- 2 岐 阜 63p
- 2 福 岡 63p

国体10回以上出場選手表彰

- 佐野 伸弥 岐 阜
- 吉田 隼人 奈 良
- 窪木 一茂 和歌山
- 山地 大介 香 川

女子チームスプリント (エキシビジョン)

- 1 高校スハ^ンシャルチーム 平井・細谷 57.967
- 2 鹿屋体育大学院 塚越・上野 58.668
- 3 大学スハ^ンシャルチーム 清水・小島 59.870

女子ケイリン (エキシビジョン)

- 1 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大大学院
- 2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工業高
- 3 平井 杏奈 福岡 祐誠高

女子スクラッチ (エキシビジョン)

- 1 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大大学院
- 2 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大
- 3 小島 蓉子 千葉 日本体育大



エイチ・アイ・エスは
世界に挑み続けるアスリート・チームを
サポートしています。



株式会社 エイチ・アイ・エス 関東法人団体専門店事業部 法人営業グループ 東京スポーツイベントセクション

電話：03-6836-2550 営業時間：平日 10:00~18:30 / 土 10:00~15:30 / 日・祝 休 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-33-8 サウスゲート新宿ビル 1 階

<http://www.sports-his.com>

成年男子スプリント優勝の橋本凌甫(右)



少年男子1km タイムトライアル優勝の南



少年男子スプリント優勝の布居(右)



男子チームパーシュート優勝の和歌山



男子チームスプリント2位の和歌山

ジャパン・パラサイクリングカップ 2015

国内初の UCI-C1 国際大会

KEIRIN 

この大会は競輪の補助金を
を受けて実施されました



男子 C1-5 個人パーシュート優勝の藤田



女子スプリント優勝の鹿沼・田中(手前)



混合 C チームスプリント 2 位の藤田・石井・相園



MC3-5 タイムトライアル優勝の CLIFFORD



混合 B タイムトライアル優勝のポーランドチーム

国内初のUCI・C1認定のパラサイクリング国際大会である2015ジャパンパラサイクリングカップが10月30日～11月1日に伊豆市の日本サイクルスポーツセンターで開催された。

トラック・ロードの両競技が実施され、8か国・46名の選手(タンデムパイロット含む)が参加した。

また今大会において、藤田征樹(C3:3km)、藤井美穂(C2:500m,3km)、相園健太郎(C2:1km)の3選手が4つのトラック日本新記録を樹立した。

【競技結果】

2015ジャパンパラサイクリングカップ (UCI-1) (2015/10/30-11/1 静岡・伊豆パドーム)

女子 C1-5 500m タイムトライアル

- 1 ZHOU Jufang C5 CHN 39.494
- 2 RUAN Jianping C5 CHN 39.724
- 3 藤井 美穂 C2 JPN 47.944

女子 C1-5 3km 個人バレーシュート

- 1 RUAN Jianping C4 CHN 51.04
- 2 ZHOU Jufang C5 CHN OVT
- 3 ZENG Sini C2 CHN 1:09.390

女子 B 3km 個人バレーシュート

- 1 鹿沼由理恵・田中 まい JPN 2:29.880
- 2 PODKOSCIELNA/WNUCZEK POL OVT

女子 タンデムスプリント

- 1 鹿沼由理恵・田中 まい JPN
- 2 PODKOSCIELNA/WNUCZEK POL

混合 B 1km タイムトライアル

- 1 鹿沼由理恵・田中 まい JPN 1:02.012
- 2 PODKOSCIELNA/WNUCZEK POL 1:05.745
- 3 大城 竜之・照井 拓成 JPN 1:07.601

男子 C1-5 1km タイムトライアル

- 1 LI Zhangyu C1 CHN 1:07.801
- 2 XIE Hao C2 CHN 1:12.054
- 3 藤田 征樹 C3 JPN 1:13.269

男子 C4-5 1km タイムトライアル

- 1 WEI Guoping C4 CHN 1:09.034

混合チームリレーのスタート(右が花岡)



- 2 石井 雅史 C4 JPN 1:09.054
- 3 DUAN Baobin C5 CHN 1:10.142

男子 C1-5 3km 個人バレーシュート

- 1 藤田 征樹 C3 JPN 3:39.087
- 2 CLIFFORD Eoghan C3 IRL 3:41.310
- 3 LIANG Guihua C2 CHN 2:50.290

男子 C4-5 4km 個人バレーシュート

- 1 石井 雅史 C4 JPN 追抜勝
- 2 阿部 学宏 C5 JPN OVT
- 3 VESLOPOLOV Vadim C5 RUS 6:10.242

男子 B 4km 個人バレーシュート

- 1 POLAK/LADOSZ POL 追抜勝
- 2 大城 竜之・照井 拓成 JPN OVT
- 3 RAMZI/IBRAHIM MAS 追抜勝

男子 B タンデムスプリント

- 1 RIZAN/MOHAMED MAS
- 2 大城 竜之・照井 拓成 JPN
- 3 BAJURI/NOH MAS

混合 C チームスプリント

- 1 中国 50.282
- 2 日本 藤田・石井・相園 53.824

混合H 3-5 ロードタイムトライアル (10km)

- 1 LIU Qiangli H5 CHN 21:58.595
- 2 LIANG Jiao H3 CHN 23:23.933
- 3 MERKLEIN Vico H4 GER 24:07.242
- 4 奥村 直彦 H4 JPN 25:58.459
- 5 花岡 伸和 H3 JPN 29:01.468

- 6 LI Huaxian H3 CHN 29:16.994

混合H 3-5 ロードタイムトライアル (10km)

- 1 小川 睦彦 T2 JPN 28:04.623
- 2 KIM Yongki T1 KOR 37:49.661

男子 C1-2, 女子 C ロードタイムトライアル (10km)

- 1 ZENG Sini C2 CHN 18:40.416
- 2 LIANG Guihua C2 CHN 19:08.841
- 3 LI Zhangyu C1 CHN 20:43.673
- 4 LYNCH Colin C2 IRL 21:32.184
- 5 相園健太郎 C2 JPN 22:18.471
- 6 LI Jieli C1 CHN 23:38.388

男子 C3-5 ロードタイムトライアル (20km)

- 1 CLIFFORD Eoghan C3 IRL 33:35.149
- 2 石井 雅史 C4 JPN 37:11.374
- 3 阿部 学宏 C5 JPN 40:44.621
- 4 VESLOPOLOV Vadim C5 RUS 48:31.600
- 5 AHMAD TARMIZI Zuhairie C5 MAS 14:40.966

混合 B ロードタイムトライアル (20km)

- 1 POLAK/LADOSZ POL 33:24.474
- 2 PODKOSCIELNA/WNUCZEK POL 34:33.887
- 3 鹿沼由理恵・田中まい JPN 35:24.672
- 4 大城 竜之・照井 拓成 JPN 39:31.587
- 5 RAMZI/IBRAHIM MAS 49:12.512
- 6 BAJURI/NOH MAS 49:32.452

混合チームリレー (12km)

- 1 中国 LIANG/LI/LIU 16:40.812
- 2 GJK MIX 花岡/SON/MERKLEIN 19:03.585

※一部のタイムは Factored Time

新しい翼で、世界の空へ。

JAPAN AIRLINES

JAL

2015 Le Tour de France SAITAMA CRITERIUM



【競技結果】

2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム
(2015/10/24 埼玉・さいたま)

クリテリウム (60km)

1	ジョン・デゲンコルプ	TGA	GER	1:19:30
2	別府 史之	TFR	JPN	
3	クリス・フルーム	SKY	GBR	
4	ホアキン・ロドリゲス	KAT	ESP	
5	ロメン・バルデ	ALM	FRA	
6	新城 幸也	EUC	JPN	

今年もツール・ド・フランスがさいたま新都心にやってきた。2年ぶりにツールを制し、今年は山岳賞も獲得したクリス・フルーム(スカイ)は、3年連続の参戦となる。一方ツールでポイント賞を4年連続で獲得し、今年の世界選手権も制したペーター・サガンは、今年は残念ながら出場見送りとなった。

今回使用されるコースは昨年と同じ1周3.1kmの特設コースだが、逆回りとなってスタート&フィニッシュ地点も一昨年のコースとほぼ同じ位置に変更された。昨年の位置はレイアウト上観客の立ち入りが制限されたが、今年は観覧できる場所でゴールすることになった。さいたまスーパーアリーナを貫く室内コースとスペシャルステージも、昨年と同じく設定されている。

昨年までは2組実施されていたポイントレースが今年は1組のみとなり、代わり

に1週の個人タイムトライアルが実施された。個人TTにはクリテリウムに参加する選手のみならず、女子とパラサイクリングの選手も招待された。女子は今年の全日本選手権個人タイムトライアル優勝の與那嶺恵理(サクソバンクFX証券)を筆頭に6選手が出走。パラサイクリングでは今年のパラサイクリングロード世界選手権MC3ロードレース優勝の藤田征樹の他、海外から同大会の上位入賞選手4名、国内選手と合わせ計7組8名の選手が出走した。こちらクリテリウムに負けられないほどの豪華な顔ぶれだ。

タイムトライアル総合優勝は中根英登(愛三工業)で、タイムは唯一4分を切る3分59秒07。女子のトップタイムは4分23秒61、地元県立浦和工業高校の細谷夢菜で、全日本選手権個人タイムトライアルジュニア準優勝(U17優勝)者として凱旋を飾った。パラサイクリングのトップタ

イムは藤田征樹の4分20秒57であった。

清水勇人さいたま市長のフラッグでスタートしたクリテリウムメインレースで、会場のヒートアップは最高潮に達した。特に序盤から中盤にかけてメイン集団を引いたチームスカイのトレインは、フルームのマイヨジョーヌも鮮やかに映えて、まるでシャンゼリゼを再現するかのような光景であった。中盤から終盤にかけても激しいレース展開となり、今回初めて会場を訪れた観客も自転車レースを大いに堪能できたことだろう。優勝はジョン・デゲンコルプ(ジャイアント)、2位は別府史之(トレック)、3位にフルームが入った。

この大会も今年で3回目の開催となり、定着しつつある感がある。フランスとの国際交流という点からも、国内重要レースのひとつに成長してきたと言えるのではないかと。(村田隆宣)

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.215 2015年10月・11月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

